

インド・ビハール州南端 インド文化庁派遣

セライケラ・チョウ 仮面舞踊公演

セライケラのチョウは、インドを代表する仮面舞踊の一つで、その幽玄とも言える仕草には「能」に共通したものがあり、日本でも早くから注目されてきました。インド政府より文化使節として派遣され、世界的に有名です。

セライケラはビハール州南端の町。この土地に長年君臨する王家によってチョウの踊りは庇護され、王家からも踊り手として訓練を受け活躍する人も出るなど、大変静かで洗練された形を保ちつつ今日まで伝承されてきました。



チョウとは仮面という意味で、舞踊はパリ・カンダ（パリは守護、カンダは剣の意）と呼ばれるマーシャル・アートから生まれたと言われ、様式化されたステップや身体の動きには武術の基本が見られます。また手の甲は攻撃あるいは防衛に直ちに移れる位置にあり、防衛や剣を使って行われるトレーニングから生まれたもの。

チョウの踊りでは、顔の表情にかわって、頭の動き、首の動き、身体の動きを使って表現されますが、それが見る人の心の中に深い印象を与えます。

今回はトリエントラ・チョウ舞踊センターより選抜された団員がインド文化庁より派遣され、全国で公演します。

舞踊団メンバー

- ゴバル・ブラサド・ドゥベイ.....総団長・ダンサー
- スリナレンドゥラ・クマール.....団長・照明音響
- サフー・マノランジャン.....ダンサー
- マハト・ニバラン.....ダンサー
- クマール・ボル・タルン.....ダンサー
- スニル・クマール・ドゥベイ.....ハルモニウム(音楽団長)
- デオ・ラージ・ドゥベイ.....フルート
- タンジョルカル・シェーカル・ジャナルダン...バイオリン
- スクラル・モハンティ.....太鼓(ドール)
- ジョティラル・ナンダ.....太鼓(ドール)

企画：NPO日印国交樹立50周年記念事業を盛り上げる会
<http://www.versajp.com/jp-india50>

2003年 6月4日

午後6:00開場
6:30開演

久我山会館

京王井の頭線
久我山駅下車
徒歩2分

チケット 前売り2,000円 / 当日2,500円 (全席自由 / 定員200名) 東京都杉並区久我山3-23-20 Tel. 3333-3436 駐車場なし

主催：NPO日印国交樹立50周年記念事業を盛り上げる会
 後援：インド大使館/インド政府観光局/(財)日印協会
 杉並区教育委員会/杉並区文化・交流協会
 協力：ARDA (NPO芸術資源開発機構)
 問い合わせ：杉並区文化・交流協会文化係 (Tel.03-5311-7035)
 NPO日印50周年事業を盛り上げる会 (Tel.0257-52-2396)

チ
ケ
ッ
ト
取
扱
い

杉並区文化・交流協会文化係
 (上荻3-29-5 杉並会館2階)
 区役所1階「コミュかるショップ」
 月曜～金曜日(祝休) 午前9時～午後5時
 (区役所は午後4時30分)